

主な実績指標

株式会社カプコンおよび連結子会社 3月31日に終了した各事業年度

会計年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016	
単位:百万円						単位:百万円						単位:千米ドル	
売上高	¥ 70,253	¥ 74,542	¥ 83,097	¥ 91,878	¥ 66,837	¥ 97,716	¥ 82,065	¥ 94,075	¥ 102,200	¥ 64,277	¥ 77,021	\$ 687,695	
営業利益	6,580	9,602	13,121	14,618	5,587	14,295	12,318	10,151	10,299	10,582	12,029	107,408	
税金等調整前当期純利益(純損失)	6,912	9,986	11,962	12,448	1,124	10,807	11,425	3,719	5,315	10,701	11,150		
親会社株主に帰属する当期純利益(純損失)	6,941	5,852	7,807	8,063	2,167	7,750	6,723	2,973	3,444	6,616	7,745	69,156	
減価償却費	1,936	2,774	3,393	4,143	3,368	3,315	3,123	3,406	4,638	3,535	5,712	51,003	
資本的支出	1,600	4,495	4,503	2,906	2,205	2,758	4,153	8,724	8,064	10,177		73,879	
研究開発費	1,864	1,828	2,972	2,329	2,125	2,924	2,236	1,982	2,002	823	1,073	9,588	
単位:百万円						単位:百万円						単位:千米ドル	
総資産額	¥ 98,457	¥ 91,478	¥ 93,606	¥ 106,210	¥ 86,621	¥ 90,408	¥ 98,247	¥ 104,365	¥ 96,611	¥ 100,773	¥ 113,057	\$ 1,009,441	
純資産額	39,464	45,144	53,660	59,349	53,956	58,007	59,352	62,828	63,875	71,331	75,168	671,150	
ネットキャッシュ	(678)	9,200	13,061	7,378	12,299	27,655	11,348	14,327	22,670	21,212	15,821	141,259	
開発者数(名)	705	728	809	1,047	1,132	1,339	1,455	1,623	1,808	1,902			
単位:百万円						単位:百万円						単位:千米ドル	
営業活動によるキャッシュ・フロー	¥ 13,921	¥ 16,063	¥ 7,452	¥ (551)	¥ 14,320	¥ 22,392	¥ (7,672)	¥ 6,647	¥ 13,201	¥ 4,286	¥ 4,347	\$ 38,812	
投資活動によるキャッシュ・フロー	(1,779)	(6,715)	(3,374)	(2,715)	(1,618)	(2,046)	(4,794)	(1,375)	(6,155)	(5,496)	(1,639)	(14,641)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	(18,259)	(15,206)	(2,448)	(342)	(10,747)	(12,919)	587	1,162	(15,099)	1,278	(1,115)	(9,956)	
現金及び現金同等物の期中増減額	(4,885)	(5,654)	(2,256)	(4,454)	1,203	5,196	(12,724)	9,235	(5,404)	1,879	431	3,852	
現金及び現金同等物の期末残高	40,652	35,020	32,763	28,611	29,815	35,011	22,287	31,522	26,118	27,998	28,429	253,836	
単位:円						単位:円						単位:米ドル	
1株当たり当期純利益(純損失)	¥ 125.19	¥ 107.52	¥ 132.90	¥ 130.98	¥ 35.71	¥ 131.18	¥ 116.10	¥ 51.64	¥ 61.11	¥ 117.67	¥ 137.75	\$ 1.23	
1株当たり配当額	20.00	30.00	30.00	35.00	35.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	0.36	
1株当たり純資産額	716.91	799.35	881.13	961.38	913.18	981.76	1,030.70	1,091.08	1,135.91	1,268.56	1,336.86	11.94	
単位:%						単位:%							
営業利益率	9.4	12.9	15.8	15.9	8.4	14.6	15.0	10.8	10.1	16.5	15.6		
株主資本利益率(ROE)	19.3	13.8	15.8	14.3	3.8	13.8	11.5	4.9	5.4	9.8	10.6		
総資産利益率(ROA)	6.8	6.2	8.4	8.1	2.3	8.8	7.1	2.9	3.4	6.7	7.2		
自己資本比率	40.1	49.3	57.3	55.9	62.3	64.2	60.4	60.2	66.1	70.8	66.5		
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	82.6	237.3	103.7	-	86.9	155.8	-	62.4	136.8	50.2	36.5		
負債比率	149.4	102.8	74.4	79.0	60.5	55.9	65.5	66.1	51.2	41.3	50.4		
単位:千本						単位:千本							
総販売本数	13,400	12,200	15,750	18,100	13,900	21,700	17,000	16,700	17,500	13,000	15,000		
主要タイトル販売本数	バイオハザード4 (PS2) 1,810	ロスト プラネット 1,370	デビル メイ クライ 4 2,320	バイオハザード5 4,400	モンスターハンター ポータブル 2nd G (ベスト版含む) 1,350	モンスターハンター ポータブル 3rd 4,600	バイオハザード オペレーション・ラクーンシティ 1,700	バイオハザード6 5,000	モンスターハンター4 4,100	モンスターハンター 4G 3,400	モンスターハンター クロス 3,300		
	新 鬼武者 640	テッドライジング 1,220	バイオハザード4 Wii edition (Wii) 1,300	ストリートファイターIV 2,500	モンスターハンター 3(トライ) 1,150	テッドライジング2 2,300	モンスターハンター 3(トライ)G 1,600	ドラゴンズドグマ 1,300	デッドライジング3 1,200	バイオハザード リベレーションズ2 1,100	ストリートファイター V 1,400		
	モンスターハンター ポータブル 610	モンスターハンター ポータブル 2nd 1,220	バイオハザード アンブレラ・クロニクルズ 1,060	モンスターハンター ポータブル 2nd G (ベスト版含む) 2,200	バイオハザード5 950	マーヴル VS. カプコン 3 2,000	ストリートファイター X(クロス)最終 1,400	DmC Devil May Cry 1,200	バイオハザード アンバーバード エディション 1,200	バイオハザード HDリマスター 900	バイオハザード リベレーションズ2 850		

1. 業績

株式会社カプコンの2016年3月期連結累計期間の売上高は770億21百万円(前期比19.8%増)と増収になりました。利益面につきましても、営業利益120億29百万円(前期比13.7%増)、経常利益113億48百万円(前期比4.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益77億45百万円(前期比17.1%増)といずれも増益になりました。

2. 売上・利益の状況

(1) 売上高

当期の売上高は、770億21百万円(前期比19.8%増)となりました。これは、主力ビジネスであるデジタルコンテンツ事業において『モンスターハンタークロス』が330万本と当初計画250万本を上回り好調に推移したほか、『バイオハザード リベレーションズ2』など、ダウンロード版を中心に過去作のリピーター販売も堅調に貢献したためです。また、PCオンラインにおいては新たにサービスを開始した『ドラゴンズドグマ オンライン』も手堅く推移しました。更にアミューズメント機器事業においても、自社パチスロ筐体『バイオハザード6』が3.7万台を販売して、前期比で台数を伸ばすなど、主にデジタルコンテンツ事業およびアミューズメント機器事業で増収をけん引しました。

(2) 営業利益

当期の売上原価は471億75百万円(前期比22.9%増)、売上原価率は61.2%と前期を1.5ポイント上回りました。これは主に1)アミューズメント機器事業において自社パチスロ機の一般原価が増加したこと、2)デジタルコンテンツ事業における新作タイトル拡充により開発原価が増加したこと、によるものです。1)については前期発売した『戦国BASARA3』において一部部材の再利用による原価の低減を図った反動増が主な要因であり、当期の原価率は

通常の水準へ戻っています。

また、販売費及び一般管理費は178億16百万円(前期比15.7%増)、売上高に占める販管費率は23.1%と前期比で0.9ポイント減少しました。これは、増収により固定費率が減少したためで、連結での販管費率は当社の想定水準である25%の範囲内で適正に推移していると考えています。

この結果、営業利益は120億29百万円(前期比13.7%増)と増益となったものの、アミューズメント機器事業の収益性低下が全体を押し下げ、営業利益率は15.6%(前期比0.9ポイント減)となりました。

(3) 親会社株主に帰属する当期純利益

当期は、営業外費用においてAPA(Advance Pricing Agreement・日本および海外双方における両税務当局に対し、独立企業間価格の算定方法等に関する事前確認)の合意に伴う価格調整により、海外子会社との取引に関する為替差損7億52百万円を計上したものの、営業増益で補完した結果、経常利益は113億48百万円(前期比4.6%増)となりました。

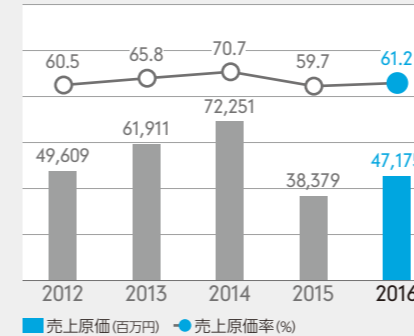
また、特別損失1億97百万円を計上した結果、株主に帰属する当期純利益は77億45百万円(前期比17.1%増)と増益となり、当期純利益率は10.1%(前期比0.2ポイント減)となりました。

3. 事業の種類別セグメントの業績

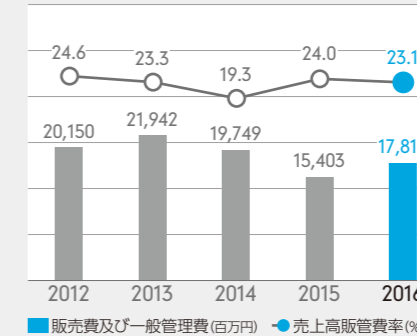
(1) デジタルコンテンツ事業

当事業におきましては、看板タイトルのシリーズ最新作『モンスターハンタークロス』(ニンテンドー3DSシリーズ用)が大人気を博し、当初計画250万本を上回る300万本を突破するなど、増収増益に大きく寄与しました。また、『バイオハザード0 HDリマスター』(プレイステーション4、プレイステーション3、Xbox One、Xbox 360、パソコン用)が手堅く販売本数を伸ばしたほか、『ストリートファイターV』(プレイステーション4、パソコン用)も根強い人気に

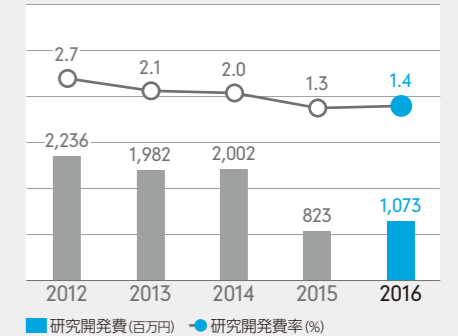
売上原価/売上原価率



販売費及び一般管理費/売上高販管費率



研究開発費/研究開発費率



支えられ、海外を中心に一定の売行きを示しました。加えて、レポート販売が好伸したほか、ダウンロード版もパッケージ販売との相乗作用により健闘し、安定した収益源となってきました。

一方、オンラインゲームは、さまざまな遊びが自由に体験できるオープンワールドタイプの『ドラゴンズドグマ オンライン』(プレイステーション4、プレイステーション3、パソコン用)が堅調に推移したほか、モバイルコンテンツでは『モンスターハンター エクスプロア』(アンドロイド、iOS用)のダウンロード数が300万件を超え、局面打開の端緒を開きました。

この結果、売上高は525億77百万円(前期比15.9%増)、営業利益121億67百万円(前期比19.2%増)となりました。

(2) アミューズメント施設事業

当事業におきましては、市場回復の足取りが鈍い状況下、中高年者を対象にゲームの無料体験ができるゲームセンターツアーやサービスデーの実施に加え、低年齢者向けに「あそび王国びいかあぶ」や「キッズコーナー」を増設するとともに、女性や家族連れなど新規ファン層の獲得を図るため、地域密着型の店舗戦略により客層の拡大に努めてきました。

しかしながら、目玉機種不足やスマートフォン等、ユーザー層が

重なる娯楽の分散化の影響による需要減退などにより弱含みに展開しました。

当期間は、「アミューズファクトリー常滑店」(愛知県)をオープンしたほか、新機軸の飲食店「カプコンカフェ」(埼玉県)等の4店舗を開店するとともに、3店舗を閉鎖するなど、スクラップ&ビルドによる施設展開を行ってきました。これにより、施設数は34店舗となっています。

この結果、売上高は90億56百万円(前期比2.0%減)、営業利益6億99百万円(前期比25.6%減)となりました。

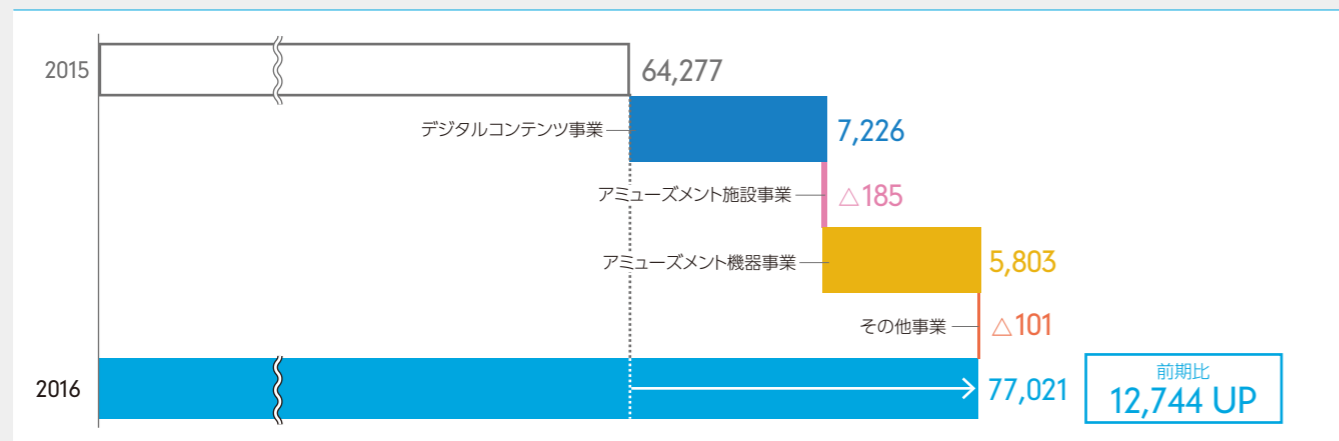
(3) アミューズメント機器事業

パチスロ機部門は、『バイオハザード6』が人気ブランドの強みを発揮して順調に販売台数を伸ばしたことにより売上高を押し上げるなど、収益を下支えしましたが、『アスラズ ラース』は軟調に推移しました。

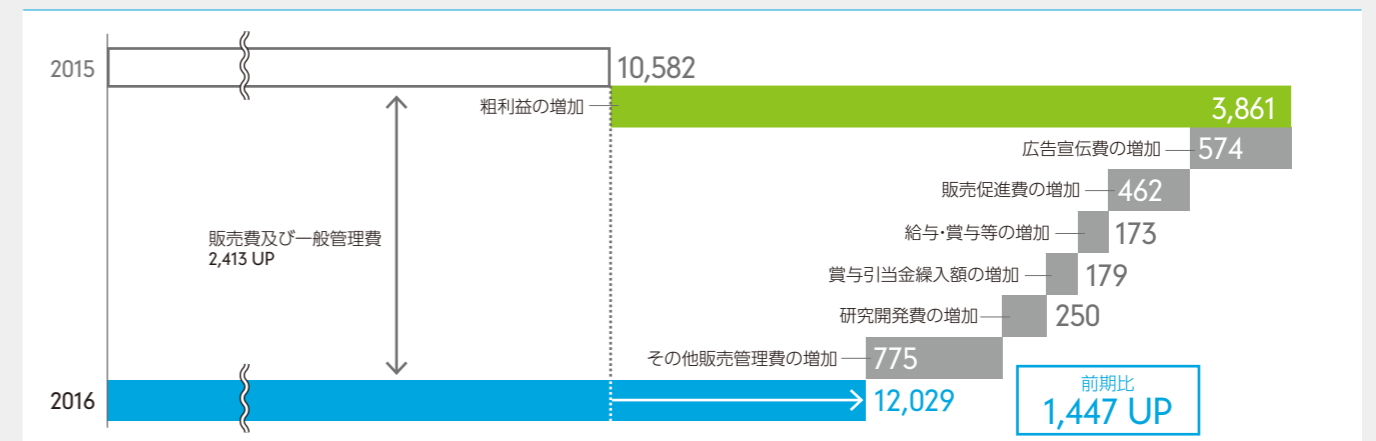
また、業務用機器部門につきましては、停滞気味の市場を反映して『ルイージマンション アーケード』が弱含みに展開したほか、『crossbeats REV.』も苦戦を余儀なくされました。

この結果、売上高は133億43百万円(前期比77.0%増)、営業利益28億12百万円(前期比2.8%増)となりました。

売上高 分析図 (百万円)



営業利益 分析図 (百万円)



(4) その他事業

その他事業につきましては、主なものはゲームガイドブック等の出版やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は20億43百万円(前期比4.7%減)、営業利益5億11百万円(前期比22.7%減)となりました。

4. 財政状態

(1) 資産

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ122億84百万円増加し1,130億57百万円となりました。

主な増加は、「ゲームソフト仕掛品」79億91百万円および「建物及び構築物」51億61百万円によるものであります。

(2) 負債

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ84億46百万円増加し378億88百万円となりました。

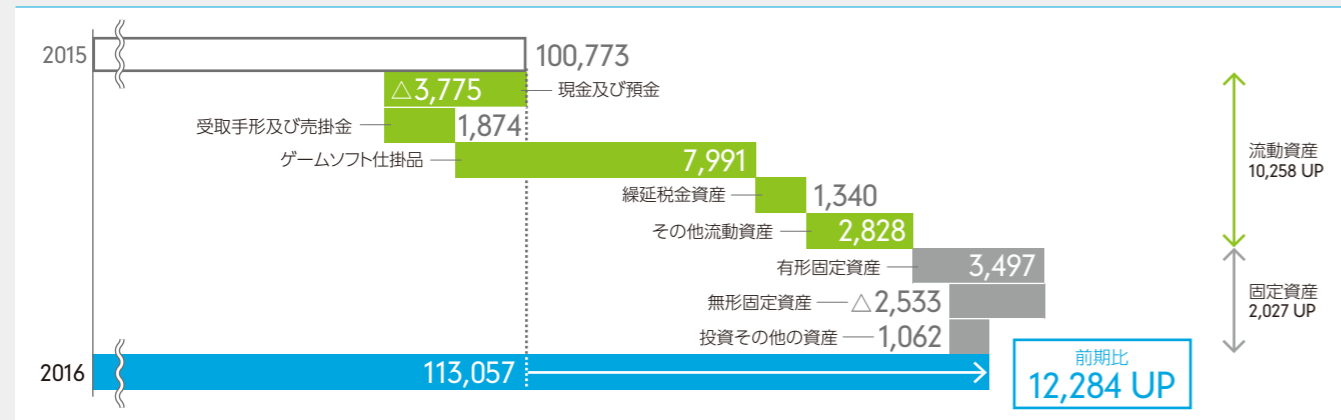
主な増加は、「未払法人税等」56億46百万円および「長期借入金」35億71百万円であり、主な減少は、「短期借入金」19億55百万円によるものであります。

(3) 純資産

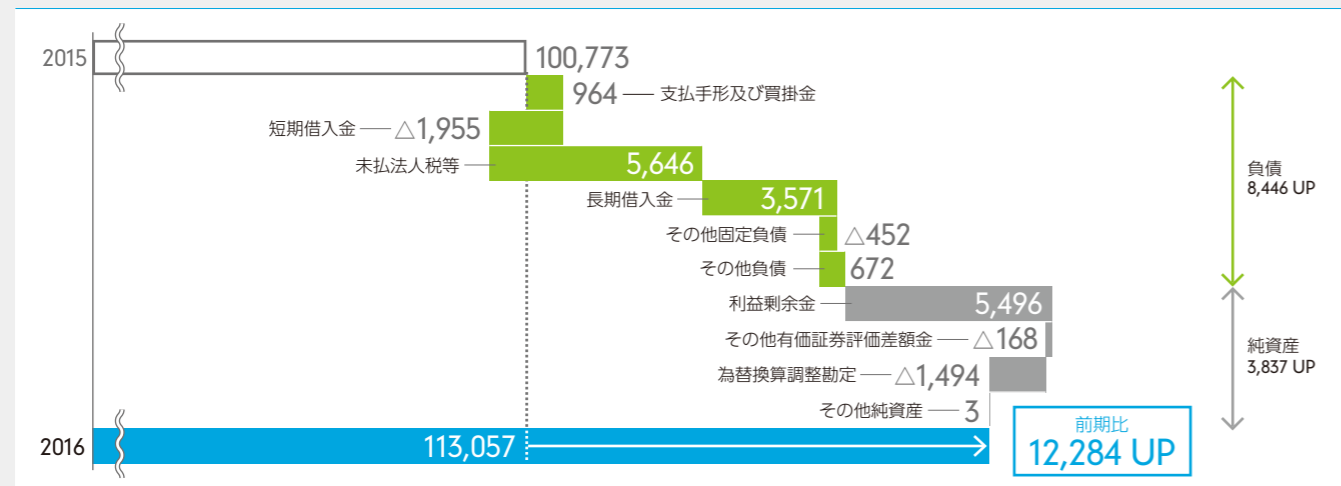
純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ38億37百万円増加し751億68百万円となりました。

主な増加は、「親会社株主に帰属する当期純利益」77億45百万円であり、主な減少は、「為替換算調整勘定(海外連結子会社等の純資産の為替換算に係るもの)」の変動14億94百万円および「剰余金の配当」22億49百万円によるものであります。

資産の部 分析図 (百万円)



負債・純資産の部 分析図 (百万円)



5. キャッシュ・フローの状況

2016年3月期連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は4億31百万円増加し284億29百万円となりました。

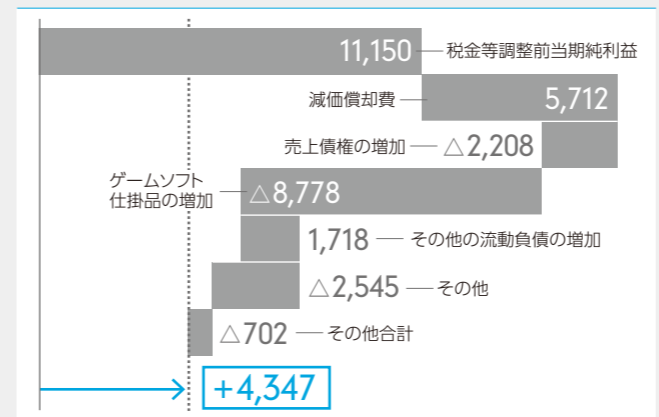
各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動で得られた資金は、43億47百万円(前連結会計年度は42億86百万円)となりました。

得られた資金の主な増加は、「税金等調整前当期純利益」111億50百万円(同107億1百万円)および「減価償却費」57億12百万円(同35億35百万円)であり、主な減少は、「ゲームソフト仕掛品の増加額」87億78百万円(同64億43百万円)および「売上債権の増加額」22億8百万円(同103億82百万円の減少額)によるものであります。

営業キャッシュ・フロー 分析図 (百万円)

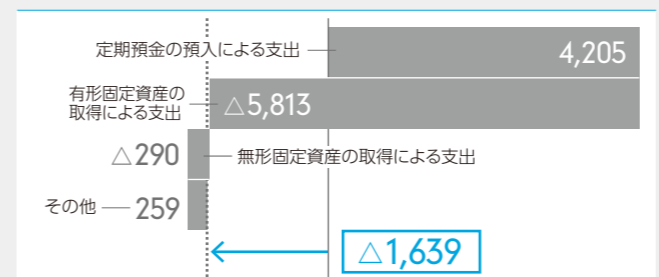


(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用された資金は、16億39百万円(前連結会計年度は54億96百万円)となりました。

使用された資金の主な増加は、「有形固定資産の取得による支出」58億13百万円(同54億65百万円)であり、主な減少は、「定期預金の払戻による収入」42億5百万円(前連結会計年度なし)によるものであります。

投資キャッシュ・フロー 分析図 (百万円)

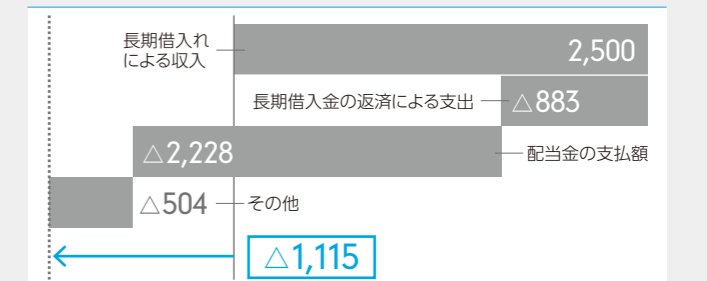


(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動で使用された資金は、11億15百万円(前連結会計年度は得られた資金12億78百万円)となりました。

使用された資金の主な増加は、「配当金の支払額」22億28百万円(同22億51百万円)、「長期借入金の返済による支出」8億83百万円(同31億69百万円)および「リース債務の返済による支出」4億96百万円(同4億6百万円)であり、主な減少は、「長期借入れによる収入」25億円(同81億62百万円)によるものであります。

財務キャッシュ・フロー 分析図 (百万円)



キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
自己資本比率(%)	66.1	70.8	66.5
時価ベースの自己資本比率(%)	114.0	133.3	136.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	53.4	256.5	290.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	136.8	50.2	36.5

自己資本比率: 自己資本 / 総資産
 時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額 / 総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債 / キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ: キャッシュ・フロー / 利払い

注)1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。
 注)2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
 注)3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
 注)4 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。
 注)5 キャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオは、平成24年3月期におきまして営業キャッシュ・フロー数値がマイナスのため、表記を省略しています。

連結貸借対照表

株式会社カプコンおよび連結子会社 2016年および2015年3月31日現在

	前連結会計年度 (2015年3月31日現在)	当連結会計年度 (2016年3月31日現在)	当連結会計年度 (2016年3月31日現在)
	単位:百万円	単位:百万円	単位:千米ドル
(資産の部)			
流動資産:			
現金及び預金	¥ 32,204	¥ 28,429	\$ 253,836
受取手形及び売掛金	8,005	9,879	88,213
商品及び製品	1,225	1,704	15,221
仕掛品	1,672	2,085	18,621
原材料及び貯蔵品	1,020	1,954	17,452
ゲームソフト仕掛品	16,833	24,825	221,653
繰延税金資産	2,042	3,382	30,200
その他	2,712	3,673	32,797
貸倒引当金	(56)	(18)	(163)
流動資産合計	65,659	75,917	677,833
固定資産:			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	6,136	11,297	100,869
機械装置及び運搬具(純額)	22	23	211
工具、器具及び備品(純額)	1,578	1,875	16,744
アミューズメント施設機器(純額)	1,101	1,342	11,989
土地	4,953	5,234	46,738
リース資産(純額)	995	1,042	9,303
建設仮勘定	2,541	8	80
有形固定資産合計	17,328	20,825	185,937
無形固定資産			
オンラインコンテンツ仮勘定	7,895	2,395	21,388
その他	2,772	5,740	51,253
無形固定資産合計	10,668	8,135	72,641
投資その他の資産			
投資有価証券	621	454	4,062
破産更生債権等	66	65	584
差入保証金	4,036	3,867	34,535
繰延税金資産	1,595	2,952	26,359
その他	876	916	8,184
貸倒引当金	(78)	(78)	(696)
投資その他の資産合計	7,117	8,179	73,028
固定資産合計	35,113	37,140	331,608
資産合計	¥ 100,773	¥ 113,057	\$ 1,009,441

連結財務諸表注記はWEBサイトをご覧ください。
http://www.capcom.co.jp/ir/data/annual.html

株式会社カプコンおよび連結子会社 2016年および2015年3月31日現在

	前連結会計年度 (2015年3月31日現在)	当連結会計年度 (2016年3月31日現在)	当連結会計年度 (2016年3月31日現在)
	単位:百万円	単位:百万円	単位:千米ドル
(負債の部)			
流動負債:			
支払手形及び買掛金	¥ 3,089	¥ 4,053	\$ 36,189
電子記録債務	988	888	7,932
短期借入金	3,452	1,497	13,367
リース債務	483	525	4,693
未払法人税等	823	6,470	57,770
繰延税金負債	147	40	364
賞与引当金	1,832	2,080	18,575
資産除去債務	6	-	-
その他	6,421	6,799	60,712
流動負債合計	17,246	22,355	199,604
固定負債:			
長期借入金	7,540	11,111	99,209
リース債務	589	601	5,366
繰延税金負債	48	18	168
退職給付に係る負債	2,101	2,323	20,741
資産除去債務	489	502	4,487
その他	1,427	975	8,713
固定負債合計	12,195	15,532	138,686
負債合計	29,442	37,888	338,291
(純資産の部)			
株主資本:			
資本金	33,239	33,239	296,779
資本剰余金	21,328	21,328	190,436
利益剰余金	33,801	39,297	350,870
自己株式	(18,140)	(18,145)	(162,016)
株主資本合計	70,228	75,719	676,069
その他の包括利益累計額:			
その他有価証券評価差額金	170	2	20
為替換算調整勘定	1,215	(278)	(2,485)
退職給付に係る調整累計額	(283)	(274)	(2,453)
その他の包括利益累計額合計	1,102	(550)	(4,918)
純資産合計	71,331	75,168	671,150
負債純資産合計	¥ 100,773	¥ 113,057	\$ 1,009,441

連結財務諸表注記はWEBサイトをご覧ください。
http://www.capcom.co.jp/ir/data/annual.html

連結損益計算書

株式会社カプコンおよび連結子会社 2016年および2015年3月31日現在

	前連結会計年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
	単位:百万円	単位:百万円	単位:千米ドル
売上高	¥ 64,277	¥ 77,021	\$ 687,695
売上原価	38,379	47,175	421,209
売上総利益	25,898	29,846	266,486
返品調整引当金戻入額	87	-	-
差引売上総利益	25,985	29,846	266,486
販売費及び一般管理費	15,403	17,816	159,078
営業利益	10,582	12,029	107,408
営業外収益:			
受取利息	98	95	855
受取配当金	13	13	120
受取補償金	92	-	-
為替差益	292	-	-
その他	168	195	1,742
営業外収益合計	664	304	2,718
営業外費用:			
支払利息	85	119	1,067
為替差損	-	752	6,714
支払手数料	83	59	528
その他	226	55	491
営業外費用合計	396	985	8,802
経常利益	10,851	11,348	101,323
特別損失:			
固定資産除売却損	100	92	826
減損損失	49	105	938
特別損失合計	150	197	1,764
税金等調整前当期純利益	10,701	11,150	99,559
法人税、住民税及び事業税	1,146	6,377	56,944
法人税等調整額	2,937	(2,972)	(26,541)
法人税等合計	4,084	3,405	30,403
当期純利益	6,616	7,745	69,156
親会社株主に帰属する当期純利益	¥ 6,616	¥ 7,745	\$ 69,156

連結包括利益計算書

株式会社カプコンおよび連結子会社 2016年および2015年3月31日現在

	前連結会計年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
	単位:百万円	単位:百万円	単位:千米ドル
当期純利益	¥ 6,616	¥ 7,745	\$ 69,156
その他包括利益			
その他有価証券評価差額金	71	(168)	(1,503)
為替換算調整勘定	2,863	(1,494)	(13,339)
退職給付に係る調整額	(114)	9	80
その他の包括利益合計	2,820	(1,653)	(14,762)
包括利益	¥ 9,436	¥ 6,092	\$ 54,393
(内訳)			
親会社株主に係る包括利益	¥ 9,436	¥ 6,092	\$ 54,393
非支配株主に係る包括利益	-	-	-

連結財務諸表注記はWEBサイトをご覧ください。
http://www.capcom.co.jp/ir/data/annual.html

連結株主資本等変動計算書

株式会社カプコンおよび連結子会社 2016年および2015年3月31日現在

単位:百万円	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	¥ 33,239	¥ 21,328	¥ 29,160	¥ (18,134)	¥ 65,593
会計方針の変更による累積的影響額			273		273
会計方針の変更を反映した当期首残高	33,239	21,328	29,433	(18,134)	65,866
当期変動額					
剰余金の配当			(2,249)		(2,249)
親会社株主に帰属する当期純利益			6,616		6,616
自己株式の取得				(5)	(5)
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	0	4,367	(5)	4,361
当期末残高	¥ 33,239	¥ 21,328	¥ 33,801	¥ (18,140)	¥ 70,228

単位:百万円	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	¥ 99	¥ (1,647)	¥ (169)	¥ (1,717)	¥ 63,875
会計方針の変更による累積的影響額					273
会計方針の変更を反映した当期首残高	99	(1,647)	(169)	(1,717)	64,149
当期変動額					
剰余金の配当					(2,249)
親会社株主に帰属する当期純利益					6,616
自己株式の取得					(5)
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	71	2,863	(114)	2,820	2,820
当期変動額合計	71	2,863	(114)	2,820	7,181
当期末残高	¥ 170	¥ 1,215	¥ (283)	¥ 1,102	¥ 71,331

単位:百万円	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	¥ 33,239	¥ 21,328	¥ 33,801	¥ (18,140)	¥ 70,228
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	33,239	21,328	33,801	(18,140)	70,228
当期変動額					
剰余金の配当			(2,249)		(2,249)
親会社株主に帰属する当期純利益			7,745		7,745
自己株式の取得				(5)	(5)
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	5,496	(5)	5,491
当期末残高	¥ 33,239	¥ 21,328	¥ 39,297	¥ (18,145)	¥ 75,719

単位:百万円	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	¥ 170	¥ 1,215	¥ (283)	¥ 1,102	¥ 71,331
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	170	1,215	(283)	1,102	71,331
当期変動額					
剰余金の配当					(2,249)
親会社株主に帰属する当期純利益					7,745
自己株式の取得					(5)
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	(168)	(1,494)	9	(1,653)	(1,653)
当期変動額合計	(168)	(1,494)	9	(1,653)	3,857
当期末残高	¥ 2	¥ (278)	¥ (274)	¥ (550)	¥ 75,168

単位:千米ドル	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	\$ 296,779	\$ 190,436	\$ 301,796	\$ (161,970)	\$ 627,041
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	296,779	190,436	301,796	(161,970)	627,041
当期変動額					
剰余金の配当			(20,082)		(20,082)
親会社株主に帰属する当期純利益			69,156		69,156
自己株式の取得				(45)	(45)
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	49,074	(45)	49,028
当期末残高	\$ 296,779	\$ 190,436	\$ 350,870	\$ (162,016)	\$ 676,069

単位:千米ドル	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	\$ 1,524	\$ 10,854	\$ (2,534)	\$ 9,843	\$ 636,885
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,524	10,854	(2,534)	9,843	636,885
当期変動額					
剰余金の配当					(20,082)
親会社株主に帰属する当期純利益					69,156
自己株式の取得					(45)
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	(1,503)	(13,339)	80	(14,762)	(14,762)
当期変動額合計	(1,503)	(13,339)	80	(14,762)	34,265
当期末残高	\$ 20	\$ (2,485)	\$ (2,453)	\$ (4,918)	\$ 671,150

連結財務諸表注記はWEBサイトをご覧ください。
http://www.capcom.co.jp/ir/data/annual.html

連結キャッシュ・フロー計算書

株式会社カプコンおよび連結子会社 2016年および2015年3月31日現在

	前連結会計年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
	単位:百万円	単位:百万円	単位:千米ドル
営業活動によるキャッシュ・フロー:			
税金等調整前当期純利益	¥ 10,701	¥ 11,150	\$ 99,559
減価償却費	3,535	5,712	51,003
減損損失	49	105	938
のれん償却額	63	-	-
貸倒引当金の増減額(減少)	(1)	(38)	(345)
賞与引当金の増減額(減少)	(3)	263	2,348
返品調整引当金の増減額(減少)	(87)	-	-
退職給付に係る負債の増減額(減少)	207	264	2,362
受取利息及び受取配当金	(111)	(109)	(976)
支払利息	85	119	1,066
為替差損益(益)	(188)	60	537
固定資産除売却損(益)	100	92	826
売上債権の増減額(増加)	10,382	(2,208)	(19,714)
たな卸資産の増減額(増加)	(764)	(1,651)	(14,749)
ゲームソフト仕掛品の増減額(増加)	(6,443)	(8,778)	(78,377)
オンラインコンテンツ仮勘定の増減額(増加)	(3,347)	1,479	13,207
仕入債務の増減額(減少)	(7,856)	935	8,357
その他流動資産の増減額(増加)	(239)	(1,260)	(11,253)
その他流動負債の増減額(減少)	(497)	1,718	15,340
その他	(393)	(2,545)	(22,723)
小計	5,187	5,309	47,405
利息及び配当金の受取額	118	130	1,167
利息の支払額	(85)	(120)	(1,076)
法人税等の支払額	(934)	(972)	(8,683)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,286	4,347	38,812
投資活動によるキャッシュ・フロー:			
定期預金の払戻による収入	-	4,205	37,550
有形固定資産の取得による支出	(5,465)	(5,813)	(51,907)
有形固定資産の売却による収入	206	4	42
無形固定資産の取得による支出	(195)	(290)	(2,598)
投資有価証券の取得による支出	(12)	(13)	(116)
その他の支出	(141)	(113)	(1,009)
その他の収入	111	380	3,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	(5,496)	(1,639)	(14,641)
財務活動によるキャッシュ・フロー:			
短期借入金の純増減額(減少)	(1,050)	-	-
長期借入れによる収入	8,162	2,500	22,321
長期借入金の返済による支出	(3,169)	(883)	(7,892)
リース債務の返済による支出	(406)	(496)	(4,437)
自己株式の取得による支出	(5)	(5)	(45)
自己株式の売却による収入	0	-	-
配当金の支払額	(2,251)	(2,228)	(19,901)
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,278	(1,115)	(9,956)
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,811	(1,160)	(10,362)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	1,879	431	3,852
現金及び現金同等物の期首残高	26,118	27,998	249,983
現金及び現金同等物の期末残高	¥ 27,998	¥ 28,429	\$ 253,836

連結財務諸表注記はWEBサイトをご覧ください。
<http://www.capcom.co.jp/ir/data/annual.html>

和文統合報告書の作成と監査上の位置付けについて

当社は、当社の事業概要および連結財務諸表を含む財務および企業価値に関する非財務内容を中心とした統合報告書を英文で作成していますが、年次報告書の開示の公平性を考慮し、英文統合報告書を和訳した和文統合報告書も作成し、皆様に提供しています。

また、和文統合報告書に関しましては、英文と和文との表現に相違がないよう留意するとともに、和文統合報告書所収の当社連結財務諸表につきましては、監査済英文連結財務諸表の和訳を掲載しています。なお当該和訳は当社の責任において行ったものであり、あずさ監査法人の査閲は受けていません。

株式の状況

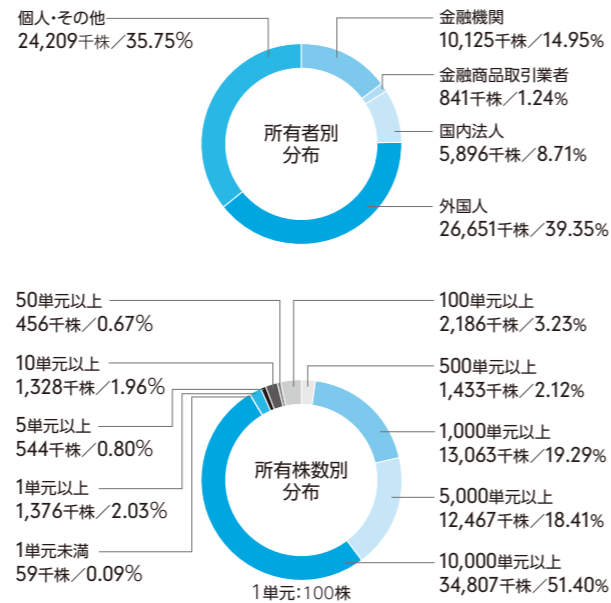
発行可能株式総数 150,000,000株
 発行済株式の総数 67,723,244株
 株主数 11,564名

大株主 (上位10名)

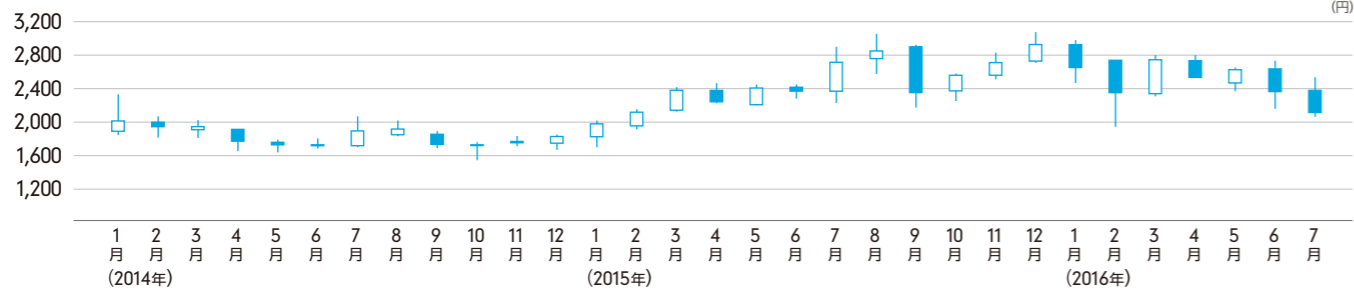
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社クロスロード	5,276	9.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,553	4.54
辻本 美之	2,325	4.14
辻本 春弘	2,202	3.92
辻本 良三	2,199	3.91
辻本 憲三	2,009	3.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,844	3.28
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	1,650	2.94
ピクテアンドシーヨーロッパエスエー	1,151	2.05
ジェーピー モルガン チェース バンク 385174	1,062	1.89

注) 持株比率については、自己株式数(11,495千株)を控除して算出しています。

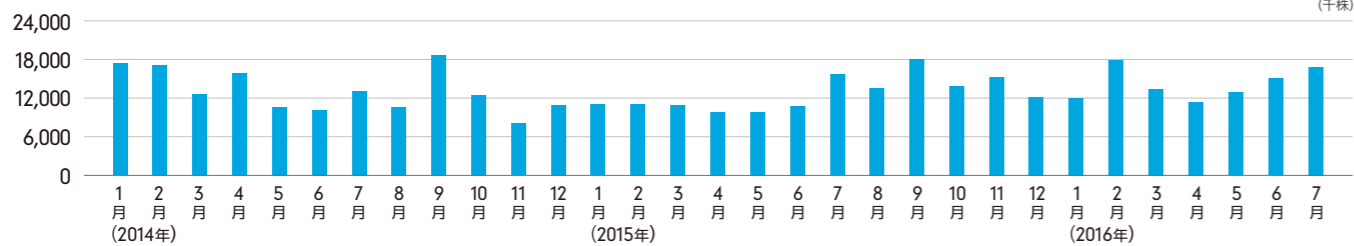
株式の分布状況



株価推移



出来高推移



株価・出来高11年推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
株価(期末)	1,209	1,692	3,400	1,746	1,766	1,590	1,891	1,476	1,958	2,389	2,745
最高値	1,450	2,445	3,490	3,640	2,010	1,907	2,311	1,959	2,330	2,413	3,075
最安値	1,000	1,102	1,660	1,475	1,297	1,145	1,473	1,250	1,396	1,541	1,944
出来高(株)	93,995,100	137,965,900	191,795,000	179,636,900	181,065,800	149,613,900	227,386,800	178,008,200	150,408,300	143,234,700	162,642,100

会社の紹介

商号 株式会社カプコン
 設立年月日 1979年5月30日
 創業年月日 1983年6月11日
 主要な事業内容 家庭用テレビゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営
 資本金 33,239百万円
 決算期 3月31日
 従業員数 連結2,839名
 単体2,114名

主な事業所

本社 〒540-0037
 大阪市中央区内平野町三丁目1番3号
 TEL:06-6920-3600
 研究開発ビル 〒540-0037
 大阪市中央区内平野町三丁目2番8号
 TEL:06-6920-7600
 研究開発第2ビル 〒540-0037
 大阪市中央区内平野町三丁目1番10号
 TEL:06-6920-7750
 東京支店 〒163-0448
 東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
 TEL:03-3340-0710
 上野事業所 〒518-1155
 三重県伊賀市治田3902番地
 TEL:0595-20-2030



本社



研究開発ビル



研究開発第2ビル

主要な子会社 (2016年6月30日現在)

株式会社カプトロン／株式会社ケーツ／株式会社エンターライズ／株式会社カプコン・モバイル／カプコンU.S.A., INC./カプコンアジアCO., LTD./CE・ヨーロッパLTD./カプコンエンタテインメント・ドイツGmbH/ビーライン・インタラクティブ, INC./ビーライン・インタラクティブ・カナダ, INC./カプコン・エンタテインメント・コリアCO., LTD./カプコン・エンタテインメント・フランス SAS/カプコン・ゲーム・スタジオ・バンクーバー, INC./ビーライン・インタラクティブ・ヨーロッパLTD./カプコン台湾CO., LTD.

別冊 最新開発レポート 2016

SECOND TO NONE



P1 コンシューマゲーム開発管掌からのメッセージ

“二つとない、世界No.1のゲーム 開発”を志し、変化を恐れず挑戦を続ける
 取締役専務執行役員 江川 陽一

開発責任者が語るカプコンの開発方針

P3 01 新生「バイオハザード7 レジデントイービル」が世界を新たな“恐怖”で染める

常務執行役員 CS第一開発統括 竹内 潤

開発を支える技術

- P5 REエンジン 石田 智史
- P6 3Dスキャン 福井 誠
- P7 VR技術 高原 和啓
- P8 ローカライズ Miguel E. Corti

P9 02 最強のゾンビアクションゲームで北米・欧州ファンを唸らせる!

カプコン・ゲーム・スタジオ・バンクーバー, INC. スタジオディレクター

Joe Nickolls

P11 03 スマホで疑似恋愛体験 女性中心で開発した女性向けゲーム

CS第一開発統括 第一開発部 第三ゲーム開発室 室長 原 美和

P13 04 オンライン開発という冒険の世界へ飛び込む

CS第三開発統括 第四開発部 第二開発室 ディレクター 木下 研人

P15 人気キャラクターを活用した地方創生